

(様式2) 利用学習報告書

平成28年7月5日

仙台市富沢遺跡保存館館長 様

仙台市立上愛子小学校

校 長 高橋 文子

担 当 第6学年 鹿野 信三

「地底の森ミュージアム・縄文の森広場学習報告書」の提出について

標記の件について下記の内容で提出いたします。お取り計らい方よろしく申し上げます。

記

1 事後指導について

(1) 実施日 平成28年7月4日(月) 1校時

(2) 主な内容

- ・ 社会科の授業で、施設での見学や体験したことについて各自、新聞にまとめる。

2 送付する資料(データ)

(1) 見学・体験の概要と児童の感想をまとめたもの

(2) 児童の作成資料(新聞)のJ P E G画像データ(4名分)

3 個人情報保護との関連

提出した資料中の児童については、個人名は伏せております。お取り計らい方よろしく申し上げます。

担当：第6学年 教諭 鹿野 信三

TEL 392-2381 FAX392-2451

Email ayashi80@sendai-c.ed.jp

利用学習報告

「地底の森ミュージアム」「縄文の森広場」の順に見学しました。時代の流れに沿って学習できましたので、時代と共に変化する自然環境と人々の生活の様子を知ることができました。

両施設での体験学習と施設見学を通じて、歴史に対する理解、興味・関心を深めることができました。

地底の森ミュージアム

体験学習（石器作り）

旧石器時代にさかのぼって、「頁岩」から石器（矢じり）を作りました。「頁岩」を自分の足の上で鹿の角で細かく叩いて、刃先を鋭利にしていく地道な作業でした。貴重な「頁岩」を慎重に選び抜いて、いざ挑戦。思い通りに削れずに四苦八苦ししながら子供たちは、当時の人たちの苦労を実感していたようです。



【子どもたちの感想】

- ・ 叩くのにコツがあるようで、私はなかなか上手くいかず、片方が全然できませんでした。だから、昔の人は大変だけど、いろいろ工夫して頑張ってるすごい！と思いました。
- ・ 最初はかなり大変だと思ったけど、慣れるとけっこう楽しくなりました。石器が出来上がってくると、すごくうれしい気持ちになりました。
- ・ ぼくは、先をとがらせることが難しくあまりうまくできませんでした。旧石器時代の人はずいと思いました。

施設見学

施設の方に説明を受けながら見学したり、学習ノートの問題に挑戦したりしながら館内を見学しました。全員しっかりと見学・学習でき旧石器時代を満喫していました。



【子供たちの感想】

- ・ 地底の森で一番驚いたことは、当時の人たちが生活したあとがそのまま残っていることです。そんな 富沢遺跡を見学できて良かったと思います。
- ・ 縄文時代より前のものが、あんなに残っているなんてすごいと思いました。
- ・ とても楽しかったです。学習カードは全部で10問ありました。全部がんばって解きました。

縄文の森広場

体験学習（石のアクセサリー作り）

「滑石」という柔らかい石をブロックやヤスリで削ったり磨いたりして、石のアクセサリーを作りました。みんな楽しみながら、世界に一つだけの素敵な勾玉を完成させました。



【子どもたちの感想】

- ・ 大変でしたが、出来たあとはすごくうれしくなりました。成功するとまた作りたくなりました。
- ・ 角を削って丸くするのが大変でした。滑石はとてもやわらかい石で、つめでも傷がつくくらいでした。
- ・ 最後に目の細かい紙ヤスリでこすると、みるみるうちにつるつるになってきました。家に帰ってから磨いて、テカテカにしたいと思います。

施設見学

昼食後、早速「竪穴式住居」に入って見る子供が大勢いました。「石のアクセサリー作り」の後、限られた時間で外を含む施設見学をさせていただいた。学習カードを何とか埋めようと必死に見学しながら、当時の人々の生活を感じていました。



【子どもたちの感想】

- ・ たて穴住居の中は、思ったより広かったです。でも、固い地面の上に寝るのはぼくにはできません。
- ・ 縄文時代の人々は、今とは想像もつかない生活をしていたことを知りました。
- ・ 縄文人は栗の木を育てていたというのが驚きました。栗の木は家を造る時に使ったり実を食べたりして、とても大事だったことが分かりました。

校外学習

新聞

発行者

発行日
平成28年7月3日

石器 勾玉



9

石器とは、石をくたいてとがらせた物や石をみかいてつた物です。石器は狩りをしたり野菜や果物をとったりする物でした。勾玉とは日本における装身具の一つです。語源は「曲かている玉」から来ています。といわれております。今、石器と勾玉を作りました。

旧石器の時代

時代



旧石器時代とは、今から1万年以上前の打製石器という石の器が造られた時代です。旧石器人たちが残していた石器は、ナイフ形石器などがうです。他にも旧石器時代の土地は、まわりより低く、沼や湿地が多い平な土地でした。

縄文時代



縄文時代はムラを造り、おそに野山や川、海などの自然の恵みを食べ物にしていた時代です。およそ1万年もの長い間続いたようです。縄文人は環境にやさしい生き方をしていたようです。くらしを支えてくれる木などの環境を大切に、食べ物になるものは、なんでも食べ、道具はこられるまで大事に使っていたようです。今回、自分達が行って来た、縄文の森広場は、上ノ台遺跡とよばれる遺跡があり、およそ2万年前も昔しの遺跡でした。

氷河期の植物



ミズバショウ



リュウキンカ



センテイカ

他にもいろいろな植物があります



校外学習

地底の森林
ミュージアム

七月八日に校外学習で地底の森林ミュージアムと縄文の森林広場に行きました。地底の森林ミュージアムでは、旧石器時代の人が使っていた石器を作りました。昔の人達と同じ方法で石器を作ったのでとても印象に残りました。作りたいたいと思いま

発行者

発行日
平成28年 7月 9日

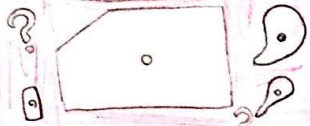
した。あとは、旧石器時代の人々が生活した後、動物のフンなどの遺跡を見て昔の人達がどんな生活をしていてどういう思いを持ちなから暮らしていたのかをほんの一部だけれど知れて良かったです。

縄文の森林広場

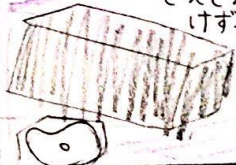
縄文の森林で特に印象に残ったのは勾玉づくりと縄文ムラの事です。勾玉づくりで使った石は、翡翠(ひすい)と言う名前です。石の中では、一番柔い石だと思います。難しかったところもあったけれど上手に出きたのでとても嬉しかったです。縄文ムラでは、当時の家々をさいげんした家に入ってお話をしてくれました。又、家の臭い、形などを知れたので良かったです。

勾玉づくり

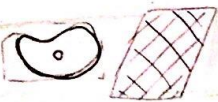
どんな形にしよう...



どんどんけすって



形を整えて。



つるつるANDピカピカに目



地底の森林、縄文の森

新聞

発行者

発行日 平成28年7月1日

地底の森林

7月1日に地底の森林に行った。地底の森林では、旧石器時代のことを勉強しました。二万年前当時の人たちが生活したあとや森林のあとなどが見学できました。初めて行ったけどとても楽しかったです。

縄文の森林

縄文人のくらしのあとが見られました。山田上ノ口遺跡という遺跡の場所に行きました。ムラをつくりおもしろい。野山や川などの自然の恵みを食べ物にしているそうでした。教科書で読んだのと同じです。分かった部分も知ることができました。

手作り体験をしてみよう

地底の森林では、「石器づくり」を体験しました。

しかのつので石かけずれたのです。思いましました。

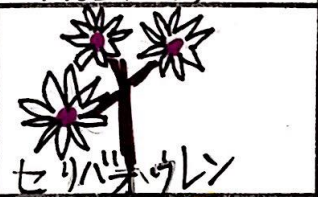
厚い部分はボランティアスタッフが手に伝ってもちいながらやりました。

縄文の森林では、石のアクセサリーや勾玉を作りました。

勾玉は時間の関係で完成までいかなかったです。

初めての体験で、いまままで感じなかったことも感じました。楽しかったです。

地底の森においた植物



とてもかわいらしい花がたくさんありました。

校外学習羽白

新聞

発行者

発行日

平成28年7月4日

地底のホムンジウム

地底のホムンジウムは旧石器時代を中心としたテーマミュージアムです。ここでは古道具遺跡から発掘された2万年前の旧石器時代の遺跡を現地で保存し公開することも、発見された資料から当時の環境と人類の活動を生き生きとよみがえらせる展示をしています。

縄文のホムンジウム

縄文人のくらしのあとが見つかった山田上ノ台遺跡。そこに復元させた縄文のムラで、見学や体験活動しながら、縄文時代のことを学ぶことができます。

Q1. 縄文のホムンジウムがあるところは何ですか？

山田上ノ台 遺跡

Q2. この遺跡はどのくらい前からあるのですか？

およそ2万年前

校外学習の感想

地底のホムンジウム
 ↳ 縄文の跡がすごく大きくておどろきました。
 ・はじめて地層が大きかったです。
 ・今の生活と旧石器時代の生活を比べると、今はお店とかで食べ物とかを買えるけれど、旧石器時代は自給自足でたいへんだった。
 ○ 縄文のホムンジウム
 ・勾玉づくりが、けっこう難しかったです。
 ・竪穴住居の中に入ると、けっこう暗いし、すずしくおどろきました。
 ・家のまわりには、貯蔵穴、埋設土器、「落とし穴」、粘土をこいた穴があったそうです。

見学体験した
 地底のホムンジウム
 ↳
 石器づくり
 縄文のホムンジウム
 (広場)
 ↳
 勾玉づくり